



[トップページ](#)

[来館される皆さまへ](#)

[診療部門のご紹介](#)

[医療機関の皆さまへ](#)

[好生館のご案内](#)

■ [理事長のごあいさつ](#)

■ [館長のごあいさつ](#)

■ [顧問のご紹介](#)

■ [好生館からのメッセージ](#)

■ [好生館の理念及び基本方針](#)

■ [病院の沿革・概要](#)

■ [病院経営](#)

■ [研究活動](#)

■ [治験・臨床研究](#)

■ [ボランティアの広場](#)

■ [佐賀県医療センター好生館への寄附のお願い](#)

■ [研修会・講演会のご案内](#)

■ [インフォメーション](#)

▶ [最新情報](#)

▶ [入札情報](#)

■ [採用情報](#)

■ [病院広報誌一覧](#)

■ [館内マップ](#)

■ [ご案内](#)

外来診療受付時間:
(月～金)8:30～11:00

外来担当一覧 [▼](#)

相談支援センター:
(月～金)8:30～17:15

[トップページ](#) > [好生館のご案内](#) > [インフォメーション](#) > [最新情報](#) > 平成27年1月15日(木)第5回特別企画セミナーを開催します。

最新情報

■ **平成27年1月15日(木)第5回特別企画セミナーを開催します。**

2015年01月05日

「第5回特別企画セミナーを開催します。」

テーマ: 「Oncoplastic Breast Surgery(オンコプラスチックサージャリー)と脂肪注入の役割」

日時: 2015年1月15日(木) 18:00～19:00

講師: 福岡 英祐先生(亀田メディカルセンター 乳腺センター 主任部長)

概要: 1978年にドイツのAudretsch教授により提唱されたOncoplastic Breast Surgery(以下OPBS)は欧州から米国、南米、そしてアジアへと広がった。本邦でも徐々に乳癌手術にOPBSの概念が導入されてきた。その中で、2012年に第1回日本オンコプラスチックサージャリー学会(JOPBS)が開催された。OPBSは手術での局所根治性と左右乳房のよりよいバランスを目的に、乳房温存術、切除術、欠損部充填、再建術、そして乳頭乳輪再建などの手技が網羅されている。OPBSの導入に伴い乳腺外科医、形成外科医は癌根治術、再建術によるより良い整容性のみならず、術前・後化学療法、放射線治療などの補助療法とOPBS手技を行う時期など時間軸を意識した外来診療が求められる。

脂肪注入はOPBS手技の中で大きな比重をもつ。目的は①温存後の欠損部充填法の一つとして、そして②乳房全摘・再建後のデコルテ補正を担う。注入する脂肪には体表(主として腹部～大腿)から採取する。②であれば単純に採取した脂肪でも十分な生着が期待できるが、①の場合は乳房自体が繊維化し血流量が減少した状態である。十分な脂肪の生着には脂肪注入部の血流量増加、生着を期待できる脂肪幹細胞を含む再生細胞を豊富にした脂肪注入(Cell Enriched Fat Transfer: CEFT)が必要と思われる。当院では①に対してCEFTを25例に施行し良好な結果を得たが、幹細胞指針による現在中断している。②に対して現在も単純脂肪注入を施行している。脂肪注入のOPBSでの位置づけ、自験例を報告する。

第5回特別企画セミナー

お問い合わせ先

佐賀県医療センター好生館

〒840-8571

佐賀市嘉瀬町大字中原400番地

総合教育研修センター(内:1850)

TEL 0952-28-1206

FAX 0952-28-1281

開催予定の特別企画セミナー

第6回特別企画セミナー

「アベノミクス下の医療改革と好生館の課題」

日時:2015年1月29日(木)

講師:松山 幸弘先生(キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹)

[最新情報に戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#)

[個人情報の取扱いについて](#) | [サイトポリシー](#) | [リンク集](#) | [サイトマップ](#) | [ご意見・ご感想](#)

本サイト上の文章や画像等に関する著作権は佐賀県医療センター好生館に帰属します。本サイト上の文章・画像等の無断使用・転載を禁止します。
Copyright 2004-2013 SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN. All rights reserved.